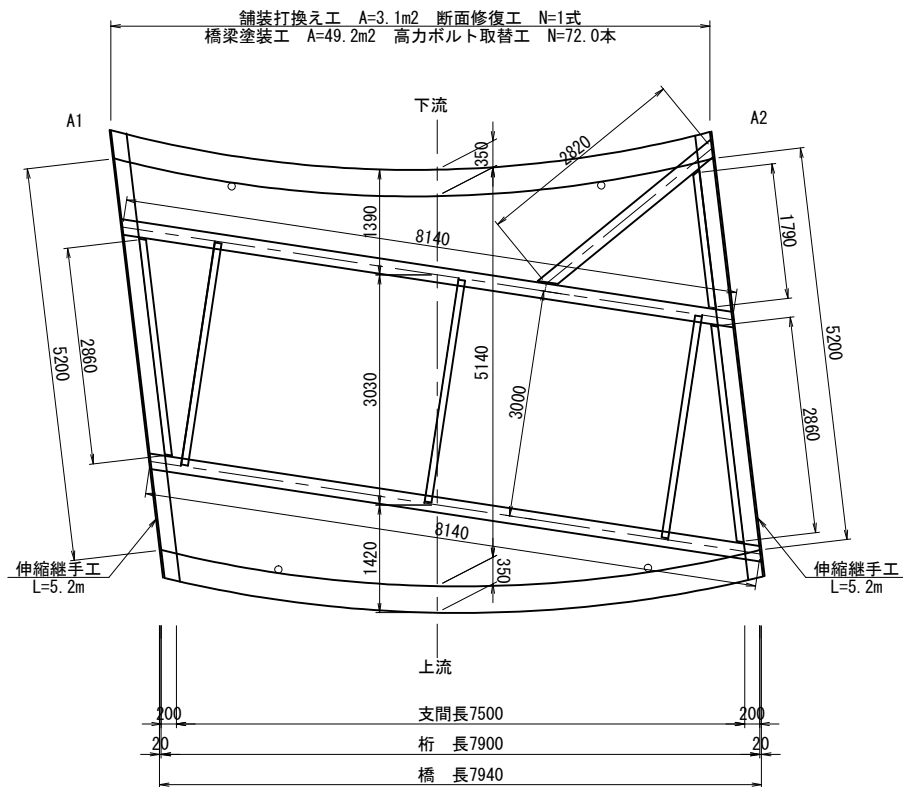


橋梁補修一般図

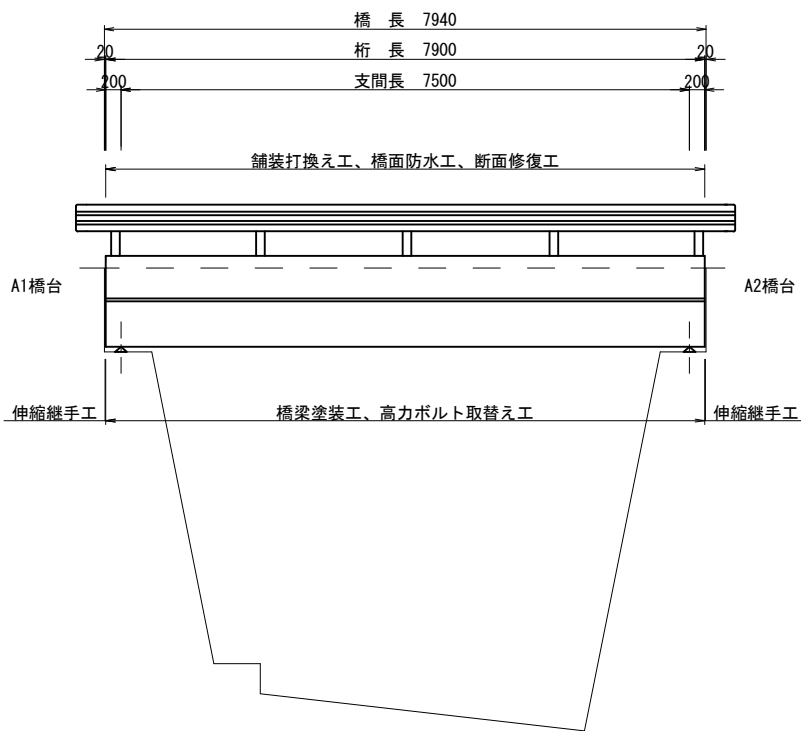
平面図

S=1:50



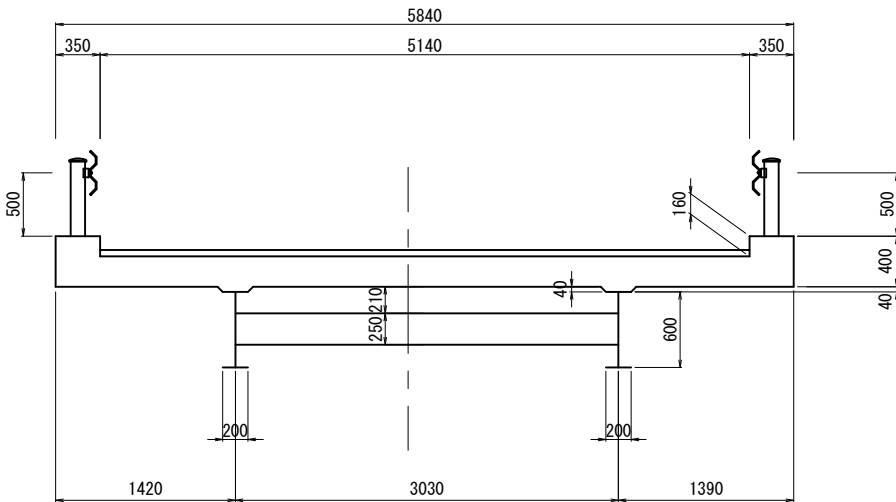
側面図

S=1:50



断面図

S=1:30



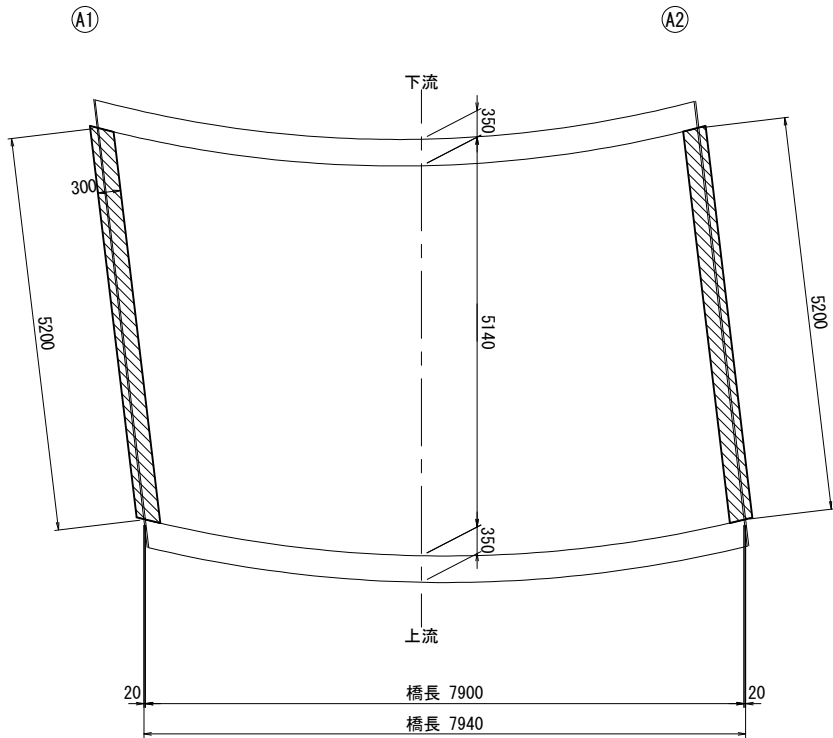
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和6年度南橋補第1号 若宮2号橋橋梁長寿命化修繕(上部工)工事		
施工箇所名	津市美杉町八知地内		
図面の種類	橋梁補修一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	1/5
事業所名	津市建設部津南工事事務所		

伸縮継手工・舗装工詳細図

S=1:50

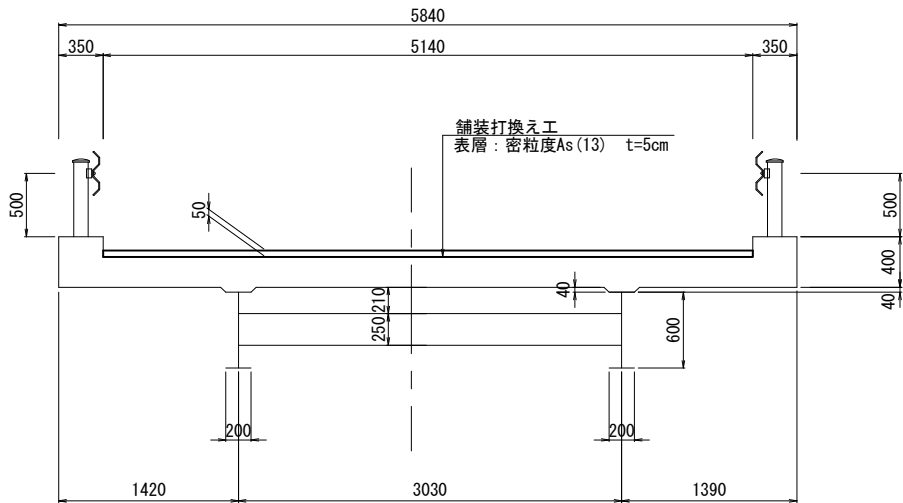
平面図



記号	名称	計算式	単位	数量
	伸縮装置工	5.20+5.20	m	10.40
	舗装打換え工	5.20×0.30×2	m2	3.12

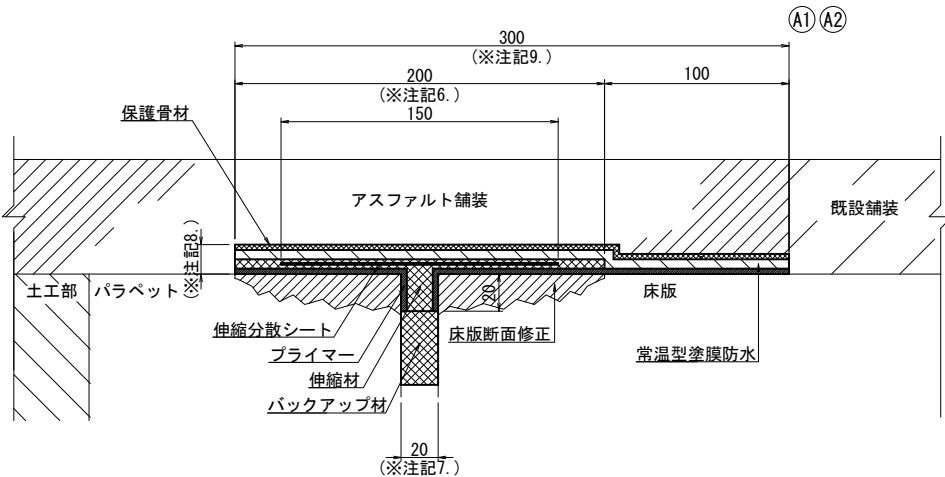
断面図

S=1:30



伸縮装置工断面図

AOS工法



伸縮継手補修		1m当たり			
名称	規格	単位	数量	備考	
伸縮継手補修	AOS工法 NETIS (CB-170021-A) 同等品以上	m	1.0		

伸縮継手補修材料表		1式当たり			
名称	規格	単位	数量	備考	
モルタル	超速硬繊維補強モルタル	袋	6.0	ロス含む	
モルタル用プライマー		セット	3.0	ロス含む	
伸縮材	ONEPIECE-GEL JOINT 主剤 硬化剤	セット	7.0	ロス含む	
プライマー	ONEPIECE-GEL プライマー	缶	1.0	ロス含む	
伸縮分散シート	ONEPIECE-GEL メッシュシート	m	12.0	ロス含む	
バックアップ材	汎用ウレタンフォーム	本	3.0	ロス含む	
常温型塗膜防水材	ONEPIECE-GEL PROOF	セット	4.0	ロス含む	
珪砂	珪砂 4号	袋	1.0	ロス含む	

※伸縮材は常温型塗膜防水と一体化する同系材料。
※常温型塗膜防水材は伸縮装置と一体化する同系材料。
※バックアップ材は2m／本を適宜切断して4mの施工に使用する。

※注記

- 伸縮装置工の数量は、調査結果を元に算出している。施工に際しては現場状況に合わせて適宜変更のこと
- 伸縮性及び止水性を有する処理を目的とするため、伸縮性を確認できる材料を選定のこと
下記に参考仕様を示す

一体化	遊間部止水層が床版防水層と一体化した伸縮装置として機能すること
伸縮追従性	±4mm繰り返しで剥離・破損がないこと
	±10mm繰り返しで剥離・破損がないこと

- 伸縮剤は、現場条件への対応性が良好なことから、ウレタン系ゴムアスファルト乳剤を選定している
- 伸縮剤との一体化のため、常温型塗膜防水の材料にはウレタン系ゴムアスファルト乳剤を必ず使用すること
- 床版断面修正の適用範囲はw200, t=30mmまでとする
- 設置面 (W=200) の遊間両端のレベル差は0に不陸修正すること
- 既設遊間幅が適用範囲外の場合は、適用範囲まで遊間幅を調整すること ※適用範囲：20mm-10、+4mm
- 断面図の厚み (t) は視認性を優先し、正確な数値 (t) を表さないことに注意すること
- W=300に使用する防水材は、常温型塗膜系防水材を指定とする

施工フロー図

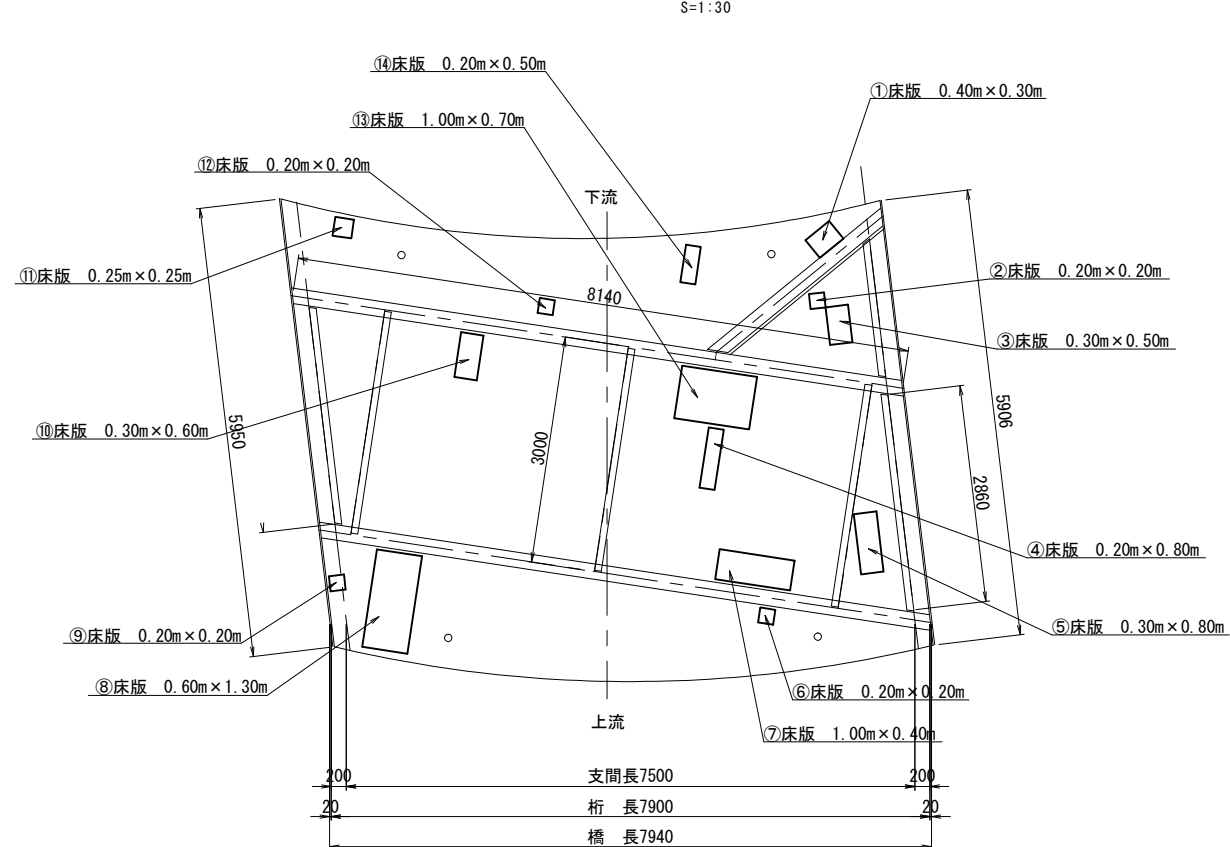


※本図面はA1サイズを原寸とする。

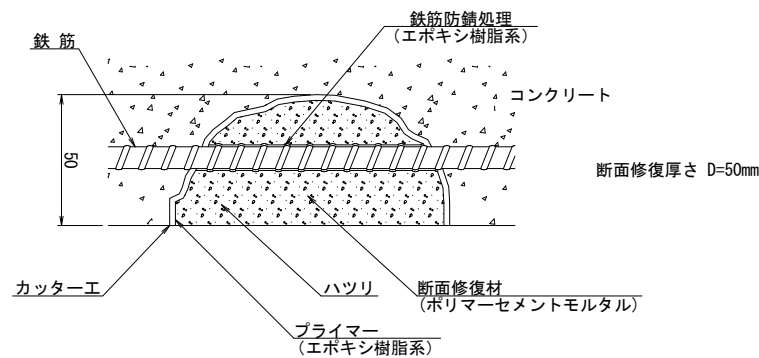
工事名	令和6年度南橋補修第1号 若宮2号橋橋梁長寿命化修繕(上部工)工事		
施工箇所名	津市美杉町八知地内		
図面の種類	伸縮継手工・舗装工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	2/5
事業所名	津市建設部津南工事事務所		

断面修復工詳細図

平面图



左官工法



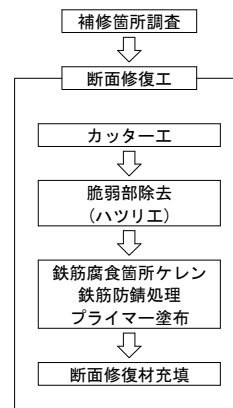
左官工法

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
左官工法	※ リーミング機使用	構造物	1.00	V=0.15m3
横込	Co液	m3	0.15	
敷運搬	Co液	m3	0.15	
敷処分	Co液	m3	0.15	

〈注記〉

1. 施工時は、現地寸法を確認のこと。
2. 脆弱部は、はつり落とすこと。
3. カッター及びはつり作業時は、既設鋼材等を傷つけないよう注意すること。
4. 本図以外の箇所でも同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。

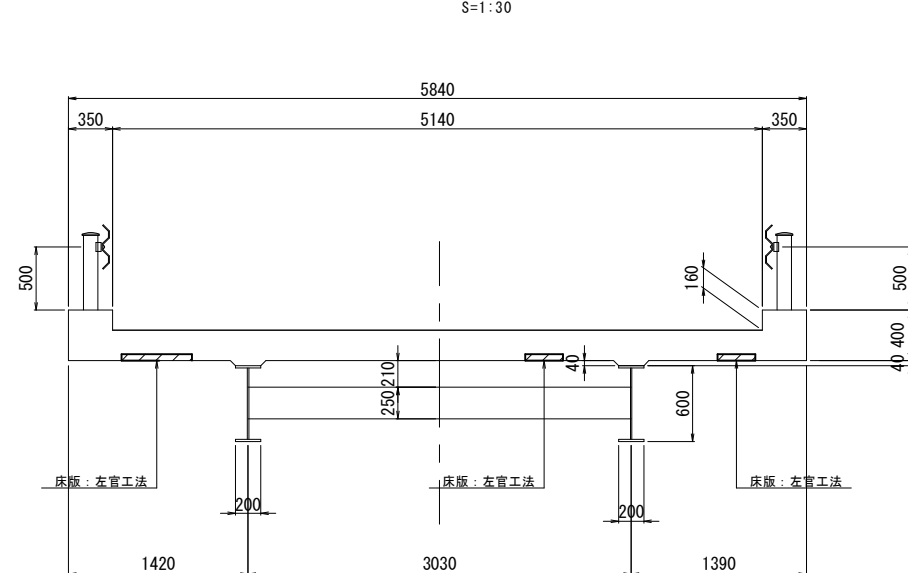
施工手順



断面修復工 数量表

番号	部材	形状 (m)	箇所数	面積 (m ²)
①	床版	0.40 × 0.30	1	0.120
②	床版	0.20 × 0.20	1	0.040
③	床版	0.30 × 0.50	1	0.150
④	床版	0.20 × 0.80	1	0.160
⑤	床版	0.30 × 0.80	1	0.240
⑥	床版	0.20 × 0.20	1	0.040
⑦	床版	1.00 × 0.40	1	0.400
⑧	床版	0.60 × 1.30	1	0.780
⑨	床版	0.20 × 0.20	1	0.040
⑩	床版	0.30 × 0.60	1	0.180
⑪	床版	0.25 × 0.25	1	0.063
⑫	床版	0.20 × 0.20	1	0.040
⑬	床版	1.00 × 0.70	1	0.700
⑭	床版	0.20 × 0.50	1	0.100
計				3.053

断面図



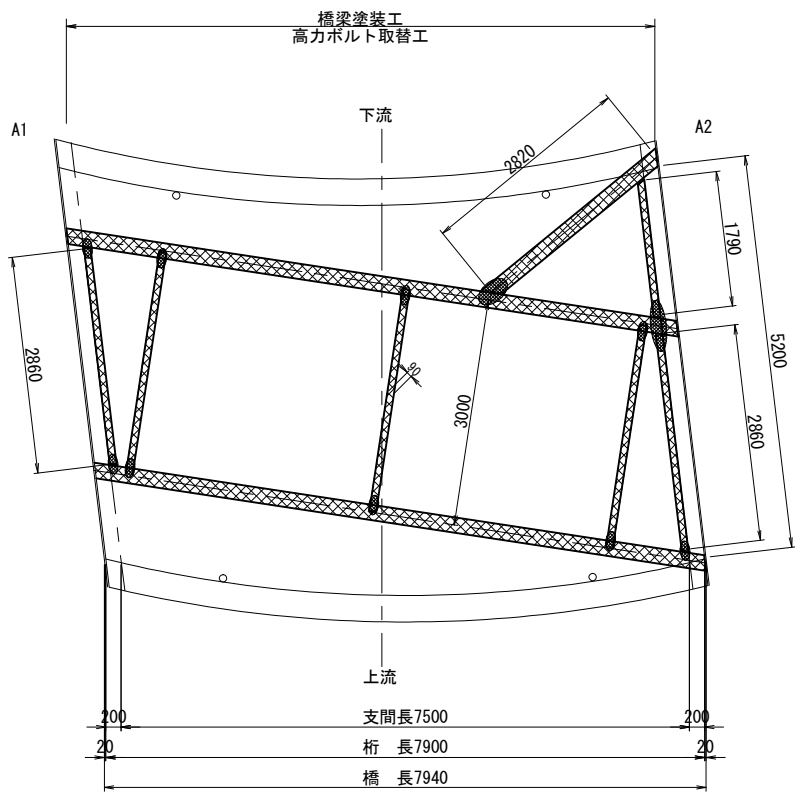
※本図面はA1サイズを原寸とする。

※本図面は「ア」の記入を要する。			
工 事 名	令和6年度南横根補第1号 若宮2号橋根張長寿命化修繕(上部工)工事		
施工箇所名	津市美杉町八知地内		
図面の種類	断面修復工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	3/5
事業所名	津市建設部津南工事事務所		

橋梁塗装工・高力ボルト取替工詳細図

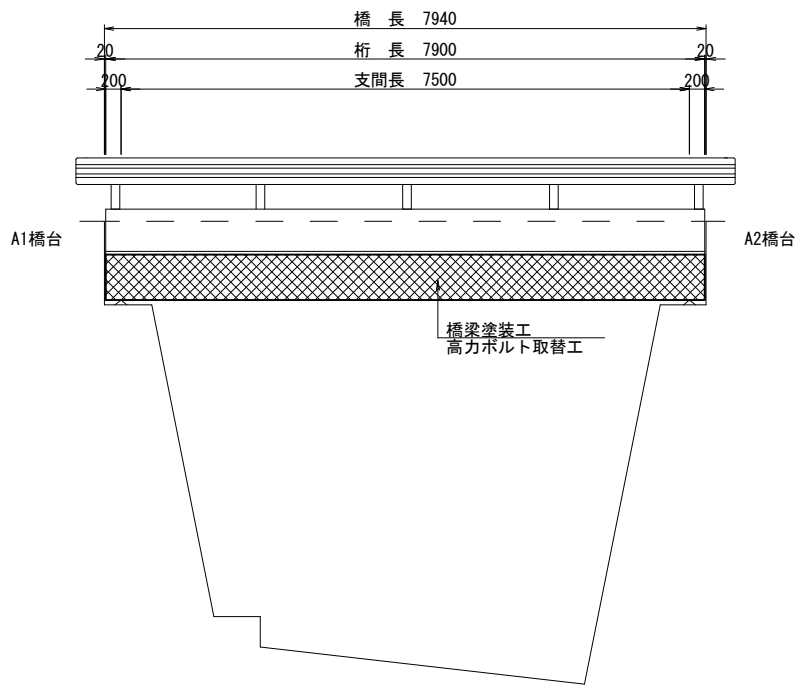
平面図

S=1:50



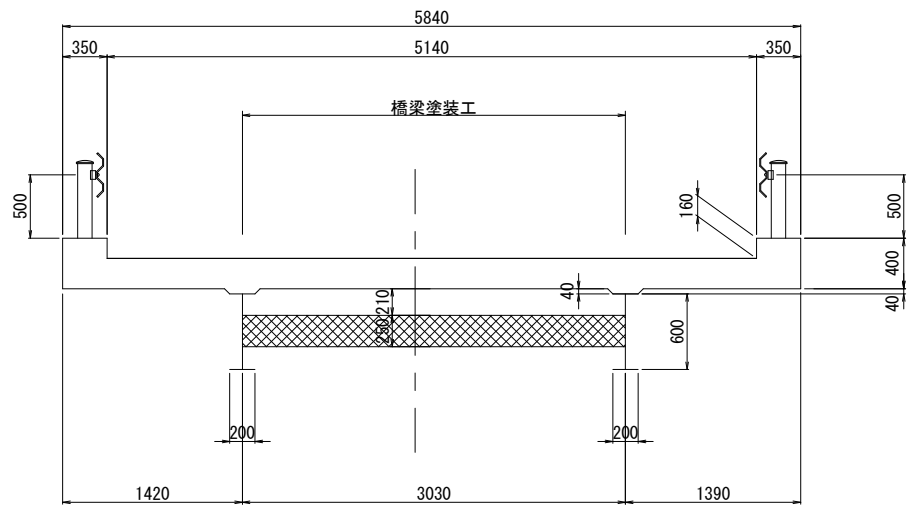
側面図

S=1:50



断面図

S=1:30



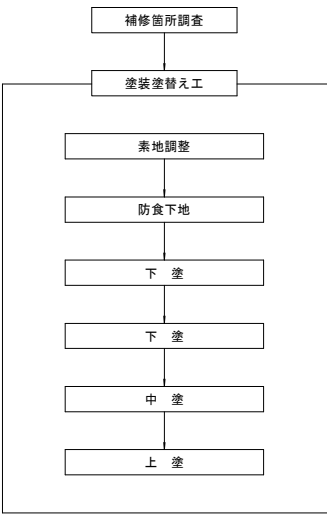
塗装仕様 Rg-1 塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1種ケレン(循環式ブラスト工法同等品)		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

出典：鋼道路橋防食便覧H26.3(公社)日本道路協会

- 注) 1. 施工に先立ち、現地調査を行い図面との整合性を確認すること。
2. 塗膜除去の際には、有害物に対する適切な足場養生を行うこと。また作業員の保護具も化学防護服、などの有害物に対して適切なものを使用すること。
3. 除去した塗膜片の運搬ならびに処分に際しては資格のある処分場等で適切に処分を行うこと。
4. 除去後の塗膜片、および除去作業で使用した足場養生材、作業保護具等は適切に管理及び処分を行うこと。

施工手順



凡 例

- ：塗装塗替え工
- ：高力ボルト取替工

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和6年度南橋補修第1号 若宮2号橋橋梁長寿命化修繕(上部工)工事		
施工箇所名	津市美杉町八知地内		
図面の種類	橋梁塗装工・高力ボルト取替工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	4/5
事業所名	津市建設部津南工事事務所		

高力ボルト取替工

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
高力ボルト撤去工	F11TM22	本	72.0	
高力ボルト締付工	F10TM22	本	72.0	
ピンテール仕上げ工		本	72.0	

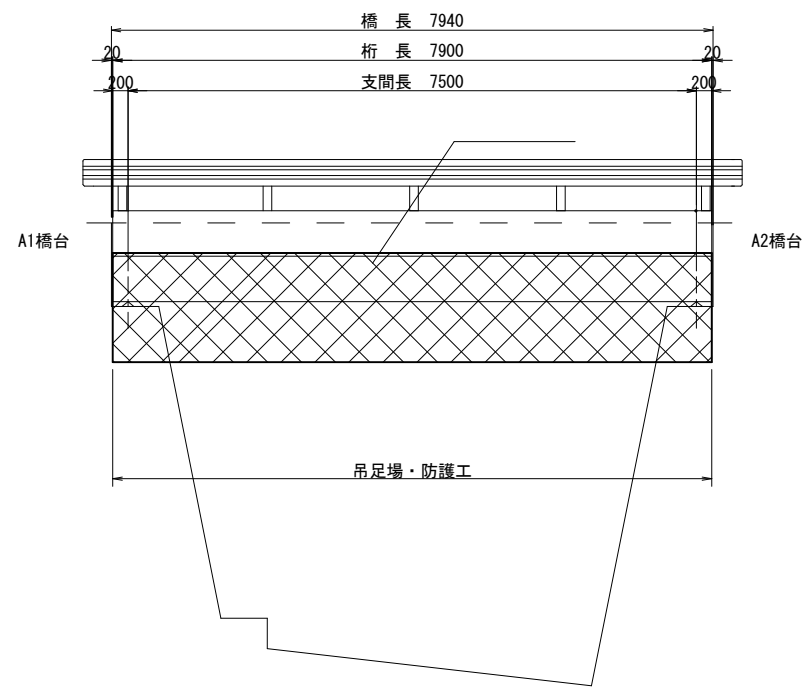
※高力ボルトの交換は、一度に全て取り外さずに、1本ずつ取り外し交換を行うこと。

※ボルトの取替えは1種ケレンを行った後にいき、その後塗装を行うこと。

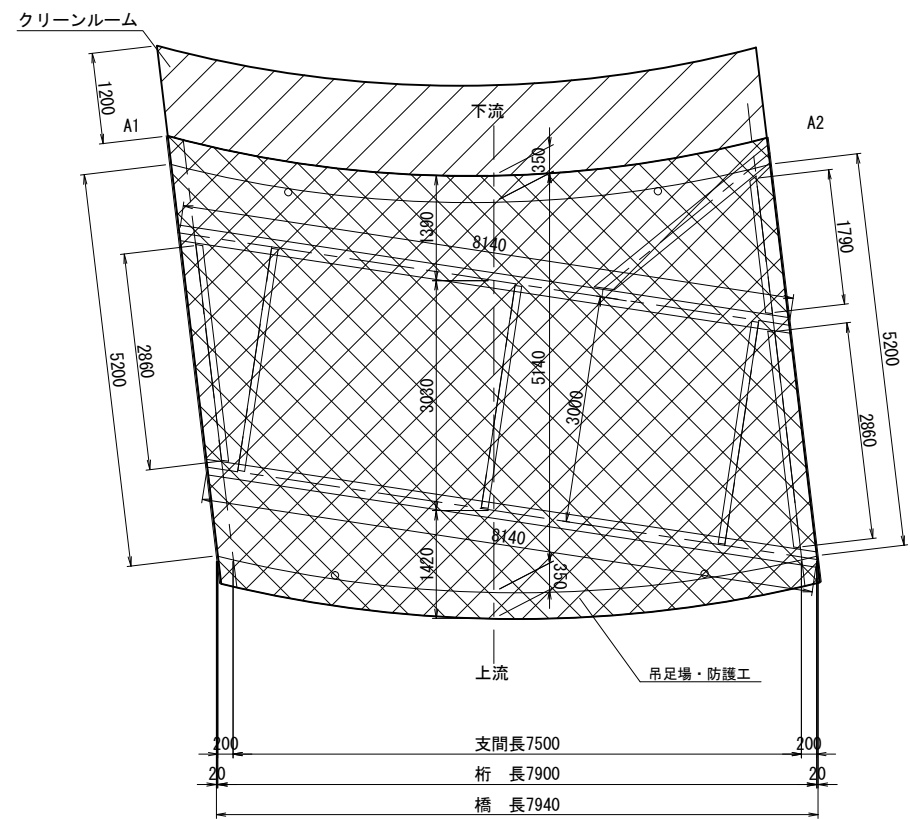
※施工前、各工種とも現地詳細調査を実施し施工寸法及び数量を確定すること

仮設足場工参考図

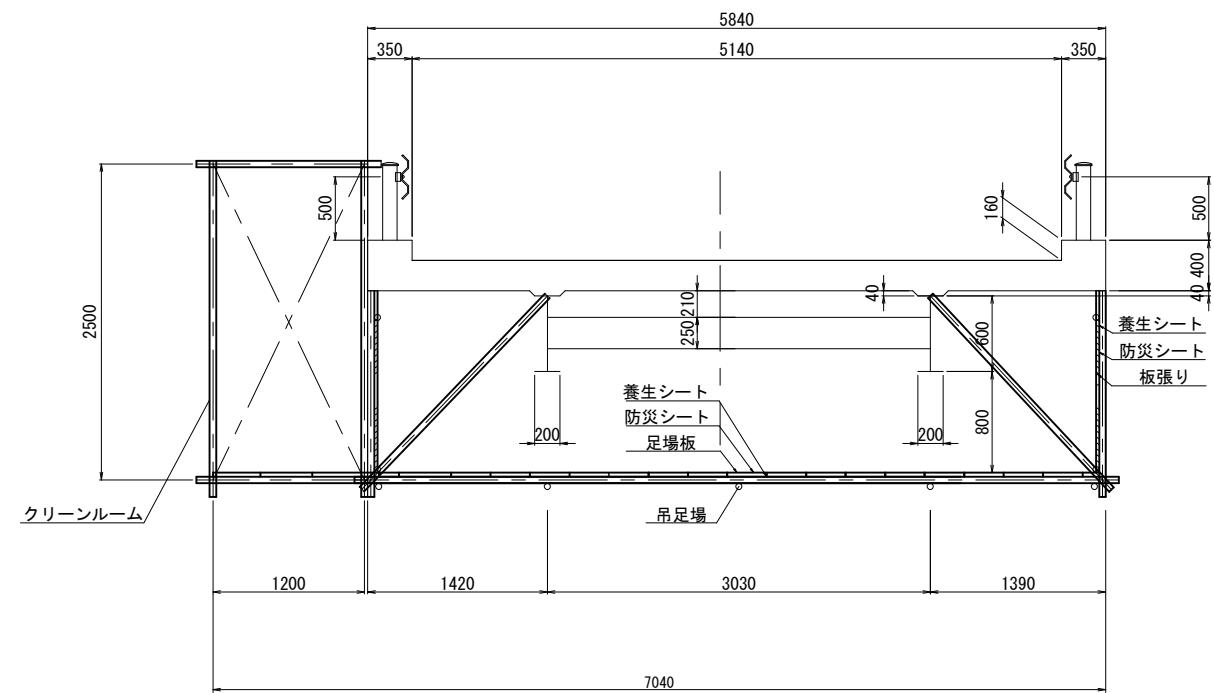
側面図
S=1:50



平面図
S=1:50



断面図
S=1:30



※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和6年度南橋補修第1号 若宮2号橋橋梁長寿命化修繕(上部工)工事		
施工箇所名	津市美杉町八知地内		
図面の種類	仮設足場工参考図		
縮尺	図示	図面番号	5/5
事業所名	津市建設部津南工事事務所		